



竹炭を使った「竹炭そば」を開発

～新たな看板商品に!!～



身延竹炭企業組合

身延竹炭企業組合(片田一弘理事長 組合員 18名)は、荒廃していた町内の竹林を活用し、竹炭作りを通して竹林の整備や雇用を創出し地域活性化につなげるために、定年退職した会社員や農業者などの高齢者が集まり平成11年に設立された。

竹炭には、除湿や消臭、清浄効果、土壌改良などの効果を謳った多様な製品が市場に出回っているが、組合では既存の製品との差別化を図るため、これまでも竹炭お線香や竹炭シャンプー、竹炭石鹸などの製品を考案し販売してきた。

今回、新たな組合の看板商品となる竹炭商品を検討した結果、下部温泉の源泉水で麺を作っている地元の製麺所の協力を得て、竹炭の粉末を

練り込んだ「竹炭そば」を共同開発した。理想の「竹炭そば」を目指し、そばの風味やコシを出すために、竹炭とそば粉の配合など何度も試行錯誤を重ね、地元産の竹炭を使ったそばとして商品化に成功した。竹炭パウダーにはアンチエイジングやデトックス効果が期待できる。「竹炭そば」は組合の販売所で2玉入り420円(税込み)で販売している。

片田理事長は「組合員が高齢化し減少しているが、これからも組合員がアイデアや意見を出し合い、竹炭の可能性を探求してその特性や機能を活かせるような製品を発売していきたい。組合事業が活性化することで、組合員がやりがいをもって安定して働ける場所が確保でき、地域資源を活用した地域の活性化にも貢献したい。」と抱負を語り、地域に根差した企業組合として活動を続けていくこととしている。



組合の敷地内にある工房



地元の製麺所と共同で開発した「竹炭そば」